

# 平成28年度 事業報告書

## NHK厚生文化事業団 平成28年度事業報告

時代とともに変化し多様化する福祉への新たなニーズに応えるため、事業団は、「認知症」や「大人の自閉症スペクトラム」「セクシュアルマイノリティの子ども」「摂食障害」などをテーマにフォーラムを開きました。

また、教室サイズの会場で連続してミニ講演会を開き、「介護離職」や「子どもの貧困」などの新しいテーマを機動的に取り上げ、講師と参加者の活発な質疑も行いました。

2020年のパラリンピック東京大会に向けて障害者への理解を促進する多様なイベントに力を入れました。パラリンピック選手を小学校に派遣して子どもたちと交流するイベントを継続して実施したほか、東日本大震災の被災地である福島・郡山市で地元出身のパラリンピアンによるトークショーと競技体験会を行いました。また、2020年の東京大会の競技会場となる東京・渋谷区ではリオ・パラリンピックのメダリストに集ってもらい、東京大会への課題を話し合うシンポジウムを行いました。

最新の福祉情報を必要な人に届けるため、放送した福祉番組などのビデオを貸し出す「福祉ビデオライブラリー」を継続して実施。事業団が独自に福祉教材のDVDを作成する事業も継続し、共にたくさんの方から貸し出しの希望がありました。

東日本大震災の被災地を支援する取り組みも行いました。その中心は「わかば基金」で、基金の中に東日本大震災復興支援部門を設け、現地の福祉活動を資金面から後押しする事業を継続しました。

このようにNHK厚生文化事業団は28年度、NHKの放送と連携し多様な福祉事業を実施しました。

### ○精神疾患の最新情報提供、障害への理解促進など 多様な障害福祉のニーズに応える

DVD教材「大人の自閉症スペクトラム」の一部を盛り込み当事者への理解と支援についてフォーラムを実施したほか、「摂食障害」や「セクシュアルマイノリティの子ども」のフォーラム、ミニ講演会「ハートカフェ」を行い、多様な福祉課題に応えました。

### ○認知症など高齢者福祉に関する啓発事業を実施

全国で高齢者の健康や生き方についてイベントを行ったほか、認知症については全国5か所でフォーラムを実施し、多角的な情報提供を行いました。

### ○多様なパラリンピック関連イベントを番組連動で実施

「パラリンピアンがやってきた！子どもたちの交流教室」に加え、東日本大震災の被災地や2020年大会の競技会場となる東京で番組連動のパラリンピック関連イベントを実施し、障害者への理解促進に努めました。

### ○きめ細かい福祉情報の提供

「福祉ビデオライブラリー」では、「大人の自閉症スペクトラム」「発達障害」「認知症」など、事業団制作教材の貸出数が増加しました。またホームページやフェイスブックでイベントの内容をわかりやすく掲載し、参加できなかった人たちへ情報を届けることにも努めました。

### ○東日本大震災からの復興を支援する事業

地域の福祉団体を応援する「わかば基金」で、東日本大震災の被災者や復興のために活動するグループへの支援に力を注ぎました。

### ○リスクマネジメントの推進とコンプライアンスの強化

社会福祉法の改正に対応して、定款変更等を実施しガバナンスの強化に努めました。

## 目 次

1. 障害者福祉事業	2
2. 高齢者福祉事業	8
3. 東日本大震災復興支援事業	10
4. 福祉情報の提供事業	11
5. チャリティー事業	14
6. その他の支援事業	15
7. 広報活動	19
8. リスクマネジメントとコンプライアンス	20
9. 共催、後援・協賛した事業	21
10. 寄付金	22
11. 賛助会員・維持会員等	23
12. 役員	25

〈 資 料 〉 ・ 事業概要一覧

# 1. 障害者福祉事業

## (1) こどもの発達相談会および療育キャンプ

### ○こどもの発達相談会

大阪、名古屋、福岡において、ことばや発達の遅れた子どもとその親の相談会を13回実施した。知的や言語の発達のおくれ、自閉スペクトラム症、LD（学習障害）やADHD（注意欠如多動症）の子どもの相談が多かった。

大阪	6回	相談件数	128件
名古屋	4回	相談件数	111件
福岡	3回	相談件数	40件

### ○親と子の療育キャンプ

発達に遅れのある子どもたちが、例年夏休みに愛知県豊田市の自然の中で集団生活を体験する「やまびこキャンプ」を予定通り実施。

8月10日～12日 愛知県豊田市旭八幡町

参加者  
99人

## (2) 肢体不自由児・者の療育活動

肢体不自由児・者の療育キャンプを、支援団体との共催・協力により、各地で実施した。夏季、冬季の野外活動を通じて、参加者の自立と社会参加を促進し、あわせて交流の輪を広げた。

### ○第48回 フレンドシップ・キャンプ

9月 3日～ 4日 岡山県蒜山高原

参加者  
53人

### ○第48回 高木記念山中キャンプ

8月21日～25日 山梨県山中湖村

91人

### ○第28回 雪と遊ぼう 親と子の療育キャンプ

(平成29年) 1月 7日～9日 新潟県南魚沼市

85人

### ○第44回 雪あそびのつどい

(平成29年) 2月19日 神戸市六甲山

41人

合計：270人

## (3) ハートカフェ@渋谷

福祉現場の最前線に立つ人や障害当事者がいま課題となっているテーマを取り上げ、あるべき社会の在り方を参加者とともに考えた。26年度からスタートした事業で、気軽に参加できる小さな規模の講演会として講師と参加者が話し合う時間を多く設け、双方向性と交流のある場とした。

	<b>参加者</b>
「介護離職しないために」	71 人
4月14日    離職しない介護、できますか？	
21日    広がる企業の取り組み ～あなたの会社でも可能？～	
28日    みんなで話そう 明日から始める介護	
「いま、熊本地震から学ぼう」	25 人
9月 1日    熊本地震！被災地支援の現場からの提言	
8日    防災ワークショップ！あなたはどうする？	
15日    発達障害、私たちはこうして命を守った！	
「考えよう 子どもの貧困」	57 人
1月 26日    いまさら聞けない でも何かを始めたい人のために	
29日    家族まるごと解決する居場所づくり	
	合 計: 153人

#### (4) ハートカフェ@谷四

28年度は、大阪市内でもハートカフェを3回実施した。

##### 「ひとごとではない！境界性パーソナリティ障害」

9月 3日	境界性パーソナリティ障害って何なの？病気なの？	46 人
22日	感情調節に苦しむ当事者に対して家族や周囲ができること	44 人

##### 「大人になって気づく発達障害」

11月27日	当事者と周りの人たちのよりよい関係作りとは	34 人
--------	-----------------------	------

合 計: 124人

#### (5) NHKハートフォーラム (発達障害)

自閉スペクトラム症やLD（学習障害）、ADHD（注意欠如多動症）などについて、NHKの地域放送局や「親の会」などと共催し、NHKハートフォーラムを6回開催した。

28年度は、「学齢期の教育支援」や「親亡き後」を巡る問題の他、100人に1～2人が発症するありふれた障害で大人になっても様々な困難を伴う「自閉症スペクトラム」を新たに取り上げた。

	<b>参加者</b>	
5月21日	青森県八戸市 「発達障害の子どもたち・自立をめざして」	364人
6月12日	東京・千代田区 「大人の自閉症スペクトラム」	407人
6月18日	京都市 「親なき後も自閉症の人たちが豊かな生活をおくるために」	729人
11月 5日	大阪・堺市 「発達障害の子どもへの理解と支援」	298人
11月27日	名古屋市 「実は身近な発達障害 ～社会は違いで できている」	509人
(平成29年)		
2月26日	福岡市 「発達障害者がおとなになるということ」	487人

合 計: 2,794人

## (6) NHKハートフォーラム (摂食障害)

心の過労死とまで言われ、本人だけでなく家族まで苦しめる摂食障害を取り上げ、当事者の体験談を通して、この障害への正しい理解と回復への道筋を探った。

10月 2日 東京港区 「摂食障害 100人100色の『回復』」

参加者

226人

## (7) NHKハートフォーラム (LGBT)

LGBT (性同一性障害など) などのセクシュアルマイノリティの子どもたちは、学校でからかわれ傷つけられている。当事者の生きづらさに耳を傾け、いま学校や地域でできることを考えた。

3月25日 大阪市 「セクシュアルマイノリティの子どもを救え

～学校だからできることから」

参加者

98人

## (8) NHKハートフォーラム (境界性パーソナリティ障害)

近年、10代から30代の若い人のうつや摂食障害などに「境界性パーソナリティ障害」が多くひそんでいることがわかってきた。医師と当事者の話から、この障害への正しい理解と、本人と家族の豊かな人生を築いていく方途を考えた。

5月 8日 東京新宿区 「境界性パーソナリティ障害」

参加者

290人

## (9) フォーラム「がんと生きる」

がん医療が進歩する中、完治を目指す治療の一方で、さまざまな痛みをできるだけ減らしていく治療やケアが始まっている。最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者や当事者が話し合った。

7月 3日 愛媛県松山市 「がんと生きる～こことからだ私らしく」

696人

9月10日 秋田市 「がんと生きる～こことからだ私らしく」

727人

11月12日 福岡市 「がんと生きる～こことからだ私らしく」

649人

(平成29年)

1月21日 千葉県習志野市「がんと生きる～こことからだ私らしく」

733人

合計：2,805人

### \*NHKの放送

8月28日 総合 愛媛県域 (7/3実施)

(平成29年)

1月29日 Eテレ 福岡県域 (11/12実施)

4月15日 Eテレ 全国放送 (1/21実施)

## (10) 障害者スポーツイベントの開催

### ○パラリンピアンがやってきた！子どもたちとの交流教室

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、パラリンピックで活躍した選手が小学校を訪問し、子どもたちと障害者スポーツを楽しみ交流する「パラリンピアンがやってきた」を8回実施した。3年目となる28年度は実施校を関東以外にも広げた。地震があった熊本市や水害にみまわれた茨城・常総市でも実施し、子どもたちに障害への理解を深めてもらおうとねらいに加え、被災地支援にも資する事業となった。

参加者

6月21日	神奈川県三浦市立剣崎小学校	「ブラインドサッカー」	69人
6月29日	山梨県甲府市立善誘館小学校	「ブラインドサッカー」	150人
6月30日	山梨県甲府市立中道南小学校	「ブラインドサッカー」	82人
7月11日	千葉市立轟町小学校	「シッティングバレー」	172人
12月12日	東京・墨田区立第一寺島小学校	「ボッチャ」	280人
12月15日	愛知県名古屋市長東桜小学校	「陸上」	308人
(平成29年)			
1月20日	熊本市立出水南小学校	「ボッチャ」	375人
	熊本県立熊本支援学校	「ボッチャ」	65人
2月10日	茨城県常総市立大生小学校	「ゴールボール」	131人

合計：1,632人

### ○NHK公開復興サポートin郡山で「福島出身選手との交流教室」

東日本大震災の被災地に向いて様々な公開番組を実施するイベントで「NHK公開復興サポートin郡山」に参加して、「パラリンピアンがやってきた！福島出身選手との交流教室」を福島局制作のローカル番組と連動して実施した。地元・福島県出身のリオ・パラリンピックを目指す選手が集まりトーク・イベントと体験教室を行い、地元小学生や保護者などでにぎわった。

イベント会場では地元の福祉施設の販売会も行い、被災地支援の一助とした。

参加者

5月22日	福島県郡山市立行徳小学校	「車いすバスケット」 「車いす卓球」 「陸上」	125人
-------	--------------	-------------------------------	------

### \*NHKの放送

6月17日 総合 福島県域  
福島スペシャル「まだ見ぬ頂きへ ～2人の障害者アスリート～」

### ○パラリンピアン大集合！2020東京を盛り上げよう

リオ・パラリンピックのメダリストに集まってもらい、リオ・パラリンピックの感動を振り返るとともに2020年の東京大会の課題を考えるイベントを、渋谷区、國學院大學の協力を得て実施した。

その中で、地元小中高生、大学生に参加してもらい『私たちの応援プラン』を発表してもらったり、観覧者に『わたしたちにできること』を色紙に書いてもらうなどして、パラリンピック競技への関心を高めてもらう仕掛けを施した。

その後、競技ごとに体験教室を実施。合わせて「義足体験コーナー」や、車いすバスケットや陸上などの選手の視覚を体験できる「VRコーナー」を設けて障害者スポーツを体感してもらった。

参加者

12月11日	國學院大學	「陸上」 「ボッチャ」 「車いすラグビー」	258人
--------	-------	-----------------------------	------

### \*NHKの放送

(平成29年)  
1月19日 総合 ハートネットTV

## ○第50回スポーツの集い

知的障害のある人のスポーツ競技会。重度の障害者が参加できる全国でも数少ないスポーツ大会で、東京都障害者スポーツ協会と協力して開催した。参加者は、100m競争、大玉ころがし、綱引き、リレーなどを行った。50回を記念して、会場のスクリーンを使って過去のハイライト映像を振り返った。

9月14日 東京都 東京体育館メインアリーナ

参加者

2,500人

## ○NHKハートスポーツフェスタ

障害のある人もない人も一緒になって障害者スポーツを楽しんだ。

参加者

8月20日 福島市 「ストレッチマンVと体を動かそう」

3,298人

## (11) 障害者や福祉への理解を促す事業

### ○福祉施設の手づくり製品や菓子の販売会

東京のNHK放送センターで、福祉施設で作られたお菓子の販売会を6回開催した。この販売会は、放送センターで働く人たちに福祉を身近に感じてもらい、障害のある人たちの就労に少しでも役立つことを願い、事業団とNHK共済会が平成23年度より共同で実施している。

このうち、12月の障害者週間には「手づくりの心届けます市」と称して渋谷区9団体の製品の展示販売会を開催し、3月には東日本大震災と熊本地震の被災地の福祉施設が作った製品の販売を行い、多くの人でにぎわった。

### ○福祉の仕事に就く若い人たちに向けたフォーラム

名古屋で、愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、中日新聞社との共催で、福祉を担う若手職員が情報交換できる場を設け、福祉現場の現状と魅力を伝えるフォーラムを開催した。

参加者

12月 1日 名古屋市 「福祉の星フォーラム」

150人

## (12) 第51回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える「障害福祉賞」には383編の応募があった。選考の結果、次の実践記録が入選した。

第1部門： 障害のある本人の部門

第2部門： 障害のある人とともに歩んでいる人の部門

応募数 383編（第1部門：287編、第2部門：96編）

(入選作)

最優秀 「ヘン子の手紙」

伊藤 議代 (兵庫県)

優秀 (第1部門) 「チャレンジ。」

佐々木 良子 (東京都)

「ふつうにふつうの服を着るよろこび」

田中 愛美 (京都府)

(第2部門) 「僕達が障害児の親として成長すること」

佐藤 康裕 (東京都)

「今を大切に」

渡邊 勝子 (福島県)

矢野 賞

「ともに生きていく」

渡辺 和子 (大阪府)

佳作

4 編

入選作品は「第51回障害福祉賞入選作品集」として広く頒布したほか、朗読による音声版（テープ、デジタル録音）、点字版の入選集を作成し、全国の点字図書館や視覚障害の応募者などに提供した。贈呈式は12月7日にNHK放送センターで行った。また入選作品や受賞者の思いを、12月27日、28日の「ハートネットTV」(Eテレ)や、1月22日「視覚障害ナビ・ラジオ」(ラジオ第2)などで紹介した。

### (13) NHKハート展

#### ■第21回ハート展

21回目の「NHKハート展」には、障害のある人が綴った詩3,387編が寄せられ、その中から選ばれた50編の詩と、その詩をもとに、各界の著名人が制作したアート作品を組み合わせで展示した。

それぞれの想いがこもった50対の作品は、平成28年4月21日から5月1日まで東急百貨店本店で開かれた東京展をはじめ、28年度中に、静岡市、広島市、青森・八戸市など全国11か所の巡回展で紹介した。

入場者は2万968人に上った。放送では作品の紹介や作詩者、作画者のインタビューを、年間を通じて、Eテレの「ハートネットTV」などで取り上げた。

#### ■巡回展 会場・入場者数 (11会場)

	会 期	会 場	入場者数
東京展	平成28年 4月21日(木)～ 5月 1日(日)	東急百貨店本店	3,105人
水戸展	8月25日(木)～ 8月30日(火)	水戸京成百貨店	3,021人
静岡展	9月21日(水)～ 10月2日(日)	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ	1,936人
札幌展	10月14日(金)～10月25日(火)	NHK札幌放送局	1,314人
室蘭展	10月28日(金)～11月7日(月)	NHK室蘭放送局	301人
福岡展	11月12日(土)～ 11月19日(土)	NHK福岡放送局	840人
熊本展	11月22日(火)～ 11月27日(日)	熊本県立美術館分館	1,258人
広島展	12月 1日(木)～ 12月12日(月)	NHK広島放送局	2,552人
神戸展	12月15日(木)～12月26日(月)	NHK神戸放送局	636人
八戸展	平成29年 1月13日(金)～ 1月19日(木)	八戸ポータルミュージアム「はっち」	5,019人
岐阜展	2月11日(土)～ 3月 3日(金)	岐阜清流文化プラザ	986人

合計 20,968人 (1会場平均 1,906人)

## 2. 高齢者福祉事業

### (1) NHKハートフォーラム「公開 すこやか長寿」

町のご長寿さんに元気の秘訣を伺う「ハートネットTV 公開すこやか長寿」の番組収録（Eテレで放送）と、ゲストによる高齢者の健康や生き方に役立つ講演を行うイベントを全国8か所で開催した。ゲストは山田邦子さんで、会場には多くの人がつめかけた。

		参加者
4月16日	山口県上関町	497人
5月14日	徳島県板野町	380人
6月4日	神奈川県大井町	329人
6月25日	石川県能美市	530人
9月10日	北海道富良野市	325人
10月8日	山梨県富士川町	259人
(平成29年)		
1月28日	兵庫県上郡町	327人
2月11日	佐賀県みやき町	346人
		合計：2,993人

### (2) 認知症のフォーラム

事業団が、NHKや各種団体と協力して多様な認知症のフォーラムを全国5会場で開催し、1,792人が参加した。認知症の人やその家族をはじめ、医療、介護従事者などの参加があった。

#### ○NHKハートフォーラム（認知症）

地元での身近な取り組みなどを例にして、医療・介護の望ましいあり方や、地域での支援体制の課題について話し合った。

「認知症700万人 当事者と創る新時代」では、当事者とサポートする仲間（同級生）の体験や意見を話してもらい好評を得、参加者アンケートでは満足度は100%だった。

		参加者
10月29日	神戸市 「認知症700万人 当事者と創る新時代」	173人
(平成29年)		
1月28日	三重県津市「人間らしさ喪失の世紀 超高齢化・IT化・認知症の波」	230人
		合計：403人

#### ○「地域カンファレンス～認知症の人の思いから始めるまちづくり～」

認知症の人にやさしい社会にするために必要なこと、安心して暮らすための情報やサポートの取り組みなどを、地域の福祉担当者も交えて話し合い啓発につとめた。

		参加者
10月16日	長野市	364人
(平成29年)		
1月15日	高知市	451人
		合計：815人

**\*NHKの放送**

11月27日 総合 長野県域（10/16実施）

（平成29年）

2月26日 総合 高知県域（1/15実施）

**○フォーラム認知症新時代 「いきいきと暮らすために～医療・介護・地域の支え合い～」**

医療・介護の最新情報と、認知症の人と家族を支援する地域の取り組みを紹介した。地元の先進的な事例を取り上げ、地域支援の輪が広がるように努めた。

**参加者**

11月25日 東京都町田市

574人

**\*NHKの放送**

（平成29年）

2月4日 Eテレ（11/25実施）

**○認知症に関するパンフレットの配布**

冊子「もの忘れが気になるあなたへ」（19年度作成・23万部刷成）と、冊子「家族が認知症と診断されたあなたへ～おすすめ介護術」（20年度作成・16万部刷成）、あわせて4,352部をフォーラムの参加者や希望者に配布した。

また、冊子を読めない視覚障害者の要望に応え、デイジーCD、音声CD、カセットテープの音声版を製作し、全国の点字図書館に配布した。⇒4.(4)参照

**(3) NHK銀の零文芸賞2016**

高齢社会をどう生きるかをテーマにした小説を一般から募集した。「零石とみ文芸賞基金」によって20年間実施してきた「銀の零文芸賞」の成果を継承し、NHKの共催を得て、平成20年度から「NHK銀の零文芸賞」として行っている。

作品の審査には、作家の出久根達郎さん、マンガ家の里中満智子さん、脚本家の竹山洋さん、NHKドラマ番組部長、文化福祉番組部長があたった。741編の応募があり次の3編が入選した。

入選作品は、「NHK銀の零文芸賞2016作品集」として製本し、広く頒布した。

最優秀 『散歩道』

松嶋 チエ（大阪府）

優 秀 『カステラ』

大野 多可子（兵庫県）

『空豆』

森川 詩歌（鳥取県）

最優秀の松嶋チエさんの作品『散歩道』はラジオドラマ化し、11月12日「FMシアター」で放送した。

**(4) NHK介護百人一首**

日々の介護の様子や思いなどを詠んだ短歌を募集して珠玉の作品を選び、「介護百人一首2017」として作品集にまとめた。11回目になる28年度は、15歳から103歳までの幅広い年齢層から過去最多となる12,108首の短歌が集まった。

入選作品は、Eテレ「ハートネットTV」で、年間を通じて定期的に紹介されたほか、パネルにして29年度に各地の放送局などで展示する。

### 3. 東日本大震災の復興を支援する事業

#### (1) 「わかば基金」で東日本大震災被災地の福祉グループを支援

地域福祉を支援する「わかば基金」に特別部門として設けている「東日本大震災復興支援部門」を通じ、28年度も引き続き被災地で活動する福祉グループの取り組みや、新たな事業を行うための支援を行った。30グループから申請があり9グループに支援金を贈った。

支援先は、被災地の人たちが集まる「居場所」を運営するグループや、福祉施設の慰問や防災訓練の手助けをするボランティアグループ、ひきこもりがちな高齢者や子どもとともに植樹や育苗体験をするグループ、行政サービスが行き届かない障害者の療育を行うグループなど様々である。 ⇒6.(1)参照

#### (2) “明日へ”のテーマ曲「花は咲く」の著作権料による義援金など

今年度もNHK東日本大震災プロジェクトの復興支援ソング「花は咲く」の楽曲著作権料3,533万円を義援金として被災地へおくれた。

また、東北で被災した福祉作業所が作った菓子や名産品の販売会を3月16日に東京の放送センターで行った。参加した施設からは、自分たちの製品を多くの人に知ってもらい、買ってもらえてありがたかったとの声が寄せられた。 ⇒1.(11)参照

## 4. 福祉情報の提供事業

### (1) 福祉ライブラリー活動

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組を複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つである。ラインナップも多様で教育や福祉の現場で活用されている。

#### ○福祉ビデオライブラリー

28年度に新しくライブラリー化した番組は22。「ハートネットTV」などテレビの福祉番組や、「NHKスペシャル」など視聴者から反響の大きかった番組、福祉の学習に役立つ番組をDVDに複製した。また、事業団が制作した福祉DVD教材もライブラリーに加えた。

20年度からオンライン予約システムを導入し、パソコンを使っていつでも予約ができるようにしている。現在、登録者は8,885人で、昨年度より830人増加した。予約の仕方は、電話予約が減り、オンラインによる予約が27年度の57%から65%に増えた。

年間の貸出利用は4,826本。おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害児の親や障害者本人、介護に携わっている家族、ボランティア団体などである。

利用した人が特に多かったソフトは、事業団制作の福祉DVD「大人の自閉症スペクトラム」(237本)。次に多かったのは「発達障害の子どもたち～“自立”をめざして～」(193本)、「うつ病」(117本)、「認知症ケア」(103本)、「“依存症”からの回復」(90人)で、いずれも事業団制作のDVD3巻シリーズだった。

また「介護」「発達障害」「認知症」を取り上げたNHK番組のライブラリーの利用も多くあった。

28年度 複製番組数	ライブラリー保有番組数	年間利用数
22番組	518番組	4,826本(枚)

◎これまでの利用数累計：18万8,679本

#### ○聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせ、聴覚障害者向けサービスとして平成15年度から行っている。28年度は、「ハートネットTVシリーズ 変わる障害者支援」、「目撃!日本列島 心をつなぐ “千本ノック”～盲目の夫婦の日々～」など5本を字幕化した。

ライブラリーは通算90番組で、全国59の聴覚障害者関係施設と当事業団で貸し出しを行っている。

#### ○視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品や古典の名作を朗読したNHKの番組を複製して、全国47か所の委託施設で貸し出しを行っている。各地の点字図書館でデジタル図書での貸し出しが一般的になっているため、平成20年度からソフト作成をテープからデジタル録音のDAISYに切り替えている。

28年度はNHKの『ラジオ文芸館』から「汐の恋文」(葉室 麟)、「この子誰の子」(宮部 みゆき)、「はるか」(北村 薫)など7作品を、『朗読』から「堀辰雄 作品集」など、『古典講読』から「芭蕉の紀行文をよむ」を複製した。

貸し出し利用は年間4,300本あまりで、「ラジオ文芸館」などの現代の作品に人気があった。

28年度 複製作品数	年間利用本数
3番組 10作品	4,310本(枚)

◎これまでの利用数累計： 197万7,602本

## (2) 福祉DVD教材「ひきこもりからの回復」の制作

仕事や学校に行かず、長期にわたって家族以外の人と交流をしない「ひきこもり」の人たちは、2016年の内閣府の推計によると54万人に上る。しかしこの数値には40歳以上は含まれておらず、支援に関わる専門家によると実際には100万人近いのではないかとされている。

そこで、こうした高年齢化などの、ひきこもりを巡る最新の課題と取り組みを専門家の解説を交えて取材し、理解と回復に向けた支援のために必要なことを考えるDVDを制作した。

福祉DVD教材(テキストつき)は3枚組で700セット制作した。精神保健福祉センター、ひきこもり地域支援センター、若者サポートステーション、親の会、専門病院などで役立ててもらおうため、希望する所に無料で配布した。

また事業団の「福祉ビデオライブラリー」でも貸し出しを行い、より多くの人に利用してもらおう。

(各巻の内容)

第1巻 「私がひきこもった理由 ～回復へのヒントを探る～」

第2巻 「我が子がひきこもったとき ～家族の役割と支援～」

第3巻 「あなたは一人じゃない ～様々な支援の形・地域編～」

監修：斎藤 環(筑波大学教授 精神科医)、中垣内 正和(KHJ全国ひきこもり家族会連合会共同代表 精神科医)

なお、本事業はJKAの補助金を得て実施した。

## (3) 「1964年 東京パラリンピック大会記録映画」短縮版の制作

事業団が制作した「1964東京パラリンピック大会記録映画」(45分)を11分45秒に再編集した。これは障害者スポーツ団体からの要望に応えたもので、29年度から「福祉ビデオライブラリー」に加えて貸し出し、2020年の東京大会に向けての勉強会やイベントに活用してもらおう。

#### (4) 「認知症」「思春期のこころの病」「がん患者のための体と心の緩和ケア」の冊子を希望者へ配布

##### ○「もの忘れが気になるあなたへ」

(監修：小坂憲司 横浜ほうゆう病院長)

認知症はどんな病気か、治療法や予防法、相談窓口などを分かりやすくまとめたもので、発行数は23万部となった。

##### ○「家族が認知症と診断されたあなたへ～おすすめ介護術～」

(監修：須貝佑一 認知症介護研究・研修東京センター副センター長)

認知症の介護のポイントを症状別に解説したもので、発行数は16万部。

28年度は、認知症の両冊子あわせて4000部をフォーラムの参加者や希望者に無料で配布した。送料は利用者負担。

##### ○「思春期のこころの病～“悩み”と“病”の見分け方～」

(監修：青木省三 川崎医科大学精神科学教室教授)

思春期特有の精神疾患の見分け方と対応について啓発する冊子で11万部作成。

27年度に在庫がなくなったが、ホームページで見られるようにし、個人のほか、学校や勉強会をするNPOなどにも利用してもらっている。

##### ○「がん患者のための体と心の緩和ケア

～痛みと悩みをやわらげて自分らしい療養生活を送るために～

(監修：的場元弘 国立がん研究センター中央病院緩和医療科・精神腫瘍科長)

がん患者の体の痛みや心の苦しみを和らげる「緩和ケア」について、病院や相談機関の情報を含めて解説したもので4万部を作成。28年度は希望者に400部を配布した。

## 5. チャリティー事業

年間を通して数々のチャリティーを行った。28度のチャリティーイベントは以下の通り。  
「※」印は物品などの贈呈をした催しで、詳細は6.(4)に記載

### (1) NHK番組公開チャリティー

催物名	期 日	会 場	売上高 等 (単位：千円)
歌謡チャリティーコンサート (2回) ※	4月15日  11月11日	相模女子大学 グリーンホール (相模原市) 静岡市民文化会館 (静岡市)	(売上高) 19,647
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート ＜東京公演＞ (16回 8日×2回)	5月2～5日  11月3～6日	NHKホール	(寄付額) 7,015
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート ＜地方公演＞ (28回)	7月16日 ～ 29年3月11日	千葉県松戸市ほか 全国11か所	(寄付額) 15,732 ＜29年度入金予定＞
いないいないばあ！ あつまれ！ワンワンわんだ ーらんど (26回)	4月10日 ～ 29年2月5日	埼玉県さいたま市 ほか 全国10か所	(寄付額) 9,543 ＜29年度入金予定＞

### (2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期日	会場	売上高 等 (単位：千円)
第49回日本陶芸倶楽部会員 チャリティー作品発表展	5月25～30日	日本橋三越本店	(寄付額) 1,229
NHK厚生文化チャリティー 展 (2回)	11月9～15日 12月7～13日	名古屋 三越栄店 津 松菱	(売上高) 11,884
障害者のための女流義太夫 チャリティー演奏会	12月17日	紀尾井小ホール	(寄付額) 120
N響「第9」チャリティー コンサート	12月24日	NHKホール	(売上高) 32,980
第50回NHK福祉大相撲 ※	29年2月 11日	両国 国技館	(売上高) 22,751

## 6. その他の支援事業

### (1) 第28回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動を続けているグループを支援するために設けられたもので、今回で28回目を迎えた。

24年度から、東日本大震災の被災地で活動している福祉グループに支援金を贈る「東日本大震災復興支援部門」を設けており、28年度は30のグループから申請があった。

また、「支援金部門」には260グループ、「リサイクルパソコン部門」には108グループから申し込みがあった。

「リサイクルパソコン部門」は、NHKやNHK関連団体から不用になったパソコンを寄贈してもらい、新しいアプリケーションソフトを入れた上で必要としている福祉団体に贈呈するもので、NHKグループの社会貢献活動となっている。

選考委員会を経て、全国16グループに総額626万円の支援金、20グループに52台のパソコンを贈った。また、被災地には9グループに492万円の支援金を贈ることができた。支援総額は、パソコン費用を含め1,349万円。

なお、初回からの贈呈件数は667に上る。

#### <支援金部門 支援先>\*16グループ \*支援金総額：626万円

北海道弟子屈町	身近に福祉用具を広める会	介助機器	46万円
山形市	ぷらっとほーむ	子ども食堂開設費	97万円
栃木県鹿沼市	NPO法人福聚会デイサービスセンター和久井亭	軽トラック	67万円
埼玉県さいたま市	グループSECたまちゃん	ミシン	25万円
埼玉県三郷市	NPO法人コンパスの会	パン成形機	69万円
埼玉県吉見町	NPO法人大地の郷	粉砕機	20万円
東京都目黒区	多言語絵本の会RAINBOW	マルチメディア音声図書制作ソフト	11万円
愛知県一宮市	NPO法人さぼてんの花	トイレ用手すり一式	15万円
愛知県名古屋市	NPO法人NAGONAGO式COCOアイランド	空気清浄機	16万円
愛知県名古屋市	NPO法人ふれ愛名古屋	障害児対応チャイルドシート一式	24万円
大阪市	安立二北寿会	ブルーレイディスクプレイヤー	15万円
和歌山県田辺市	NPO法人絆 エコファーム絆	ベーカリーオーブン	60万円
高知県四万十市	NPO法人若者就労支援センターつながるねっと	車両	97万円
福岡市	中途失聴・難聴者サークル“うさぎ”	ヒアリンググループ	23万円
長崎市	NPO法人SPICY	暖房機器、加湿器	17万円

鹿児島県日置市 NPO法人長寿ささえ愛の会 エアコン、人工芝 24万円

**<リサイクルパソコン部門 支援先>\*20グループ \*リサイクルパソコン贈呈:52台**

秋田県大館市	NPO法人ハートランドひまわり		3台
福島県須賀川市	須賀川手話サークルあゆみ会		3台
福島県郡山市	要約筆記こおりやま		3台
栃木県栃木市	栃木市パソコン要約筆記サークル「さくらんぼ」		2台
さいたま市	無料塾「ひこざ」		1台
千葉県流山市	流山音訳グループ		3台
千葉県茂原市	NPO法人ひびき		2台
東京・八王子市	NPO法人ひざしひろば		3台
神奈川県海老名市	筆記通訳 風		1台
新潟市	声のボランティアグループ 桃花会		3台
静岡県島田市	NPO法人ららの家		3台
愛知県知多市	NPO法人リナスト		3台
岐阜市	NPO法人岐阜ダルク		3台
富山市	NPO法人ゆめさぼーとらいちょう らいちょう熊野		3台
奈良県大和高田市	奈良県要約筆記サークルOHPわかくさ		3台
和歌山県御坊市	NPO法人ワークス・アールブリュット推進協議会		2台
広島市	グループ虹		2台
福岡市	ICTサポート福岡		3台
福岡県田川市	田川点訳サークル「コスモス」		3台
宮崎県新富町	NPO法人ハッピーデイズ		3台

**<東日本大震災復興支援部門 支援先>\*9グループ \*支援金総額:492万円**

岩手県大槌町	おおつち おばちゃんくらぶ	さおり織機	49万円
宮城県仙台市	NPO法人あいの実	入浴対応ストレッチャー	91万円
宮城県気仙沼市	NPO法人海べの森をつくろう会	パイプハウス一式	54万円
宮城県丸森町	NPO法人そのつ森	洗濯機、冷蔵庫	58万円

宮城県山元町	NPO法人ポラリス	アトリエ整備費	98万円
宮城県気仙沼市	南地区絆クラブ	スポーツ用品	10万円
福島県鮫川村	NPO法人あぶくまエヌエスネット	宿泊体験実施費	85万円
福島県伊達市	音楽で子どもたちを元気にする会「にじいろ」	楽器	25万円
福島県郡山市	NPO法人びいかあぶう	人工芝マット、鉄棒	22万円

## (2) NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

「平成28年度NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい」を、NHK、中央共同募金会、日本赤十字社と共催で12月1日～25日の間実施した。

「歳末たすけあい」の義援金は、中央共同募金会を通じて被災した福祉施設への支援、障害のある人や、援助や介護を必要とするひとり暮らしのお年寄り、援助を必要とする子どもたち、長期療養生活をしている人や生活が困難な世帯などに配分される。

「海外たすけあい」では、日本赤十字社が赤十字国際機関と協力し、紛争や自然災害に苦しむ人たちのために使われる。

受付件数・金額（全国集計）

	NHK歳末たすけあい		NHK海外たすけあい	
	件数	金額	件数	金額
平成28年度	4万31件	5億1,083万6,886円	7万6,343件	6億3,582万9,119円

## (3) 「災害たすけあい」受け付けの実施

事業団ではNHK、日本赤十字社、共同募金会とともに、大規模な災害が起こった際に、その都度「災害たすけあい」を実施している。28年度は、10月に鳥取県で起きた地震の際に実施した。

	期 間	日数	件数	金 額
平成28年 鳥取県中部地震災害 救援金	平成28年10月25日 ～平成29年3 月31日	96日	6,812 件	2,760万5,0812円

## (4) 物品などの寄贈

### ○NHK福祉大相撲による「福祉相撲号」の寄贈

29年2月11日に開催した「第50回NHK福祉大相撲」（入場者4,263人）の純益により福祉車両「福祉相撲号」5台を購入し、これに協力団体からの寄贈1台と合わせて合計6台を障害のある人たちの療育活動や、お年寄りのデイケアなどの活動を行

っている施設・団体に寄贈した。

「NHK福祉大相撲」の様子は、2月18日 総合テレビで放送した。

#### <贈呈先>

社会福祉法人	南富良野大乘会 障害福祉サービス事業所 なんぷ〜香房	(北海道富良野町)
社会福祉法人	寿広福祉会 特養ホーム L・ハーモニー石下	(茨城県常総市)
社会福祉法人	瑞祥 特養ホーム ビラ・オレンジ	(愛知県美浜町)
社会福祉法人	奈良市和楽園 デイサービスセンター和楽園	(奈良市)
社会福祉法人	はびねす福祉会	(島根県益田市)
社会福祉法人	綾羽福祉会 特養ホーム まえさと茶寿苑 デイサービス花織	(沖縄県石垣市)

#### ○「歌謡チャリティーコンサート」による寄贈

■ 4月15日、神奈川県相模原市で開催した「歌謡チャリティーコンサート」(入場者1,544人)の純益で「車いす付き介護浴槽」を購入し、神奈川県内の3か所の高齢者福祉施設に贈呈した。

コンサートは5月3日、総合テレビで放送した。

#### <贈呈先>

社会福祉法人	蓬萊会 特別養護老人ホーム ケアプラザさがみはら	(相模原市)
社会福祉法人	喜寿福祉会 特別養護老人ホーム グリーンライフ湘南	(藤沢市)
社会福祉法人	七葉会 特別養護老人ホーム 菅田心愛の里	(横浜市)

■ 11月11日、静岡市で開催した「歌謡チャリティーコンサート」(入場者1,660人)の純益を、静岡県はじめ全国の障害者スポーツ団体・施設に障害者スポーツ用具を贈呈した。

コンサートは11月22日、総合テレビで放送。

#### ○パラリンピックの競技用車いすを渋谷区に寄贈

2020年のパラリンピック東京大会に向けて、その競技の普及と障害への理解を深めてもらうために、競技用車いすを渋谷区に寄贈した。

2020年に渋谷区内の競技場で行われる種目である「車いすバドミントン」と「車いす卓球」の競技用車いす計4台で、各競技の体験イベントなどに活用してもらう。

#### (5) 催物への招待

事業団の催し物の開催時に、視覚障害の人や知的障害のある人など459人を招待した。

		招待者
12月24日	N響「第9」チャリティーコンサート (平成29年)	NHKホール 140人
2月11日	NHK福祉大相撲	両国 国技館 319人
		合計: 459人

## 7. 広報活動

事業団の活動を周知するために事業内容を紹介した印刷物をイベント会場で配布し、福祉活動への理解と協力を求めた。またホームページでは、催し物の周知や活動報告などを分かりやすく伝え、ネット時代にふさわしい広報活動に努めた。

### (1) 広報物の作成・配布

- NHK厚生文化事業団年報「障害者、高齢者にやさしい社会をめざして」を発行して、事業団の福祉活動への理解促進を図った。
- 事業団の業務を紹介したパンフレット「あなたのやさしさを必要な人にとどけます」を作成して、イベント会場などで配布した。また会場では、イベントのテーマにそった冊子を配るほか、事業団作成の福祉DVD教材や福祉ビデオライブラリーの利用案内などのチラシも配布している。
- NHKの放送、ニュースにより事業団の催しを紹介したほか、外部メディアへ情報提供を積極的に行い、新聞・雑誌などで事業の予定や活動内容が紹介された。

### (2) 広報活動の強化にホームページの拡充

- 事業団の活動をより多くの人に知ってもらい、活用してもらうため、「最近の活動」「今週のおすすめ」など情報をきめ細かく提供するとともに、ビジュアルでわかりやすい画面構成に努めた。

掲載している主な内容は、

- ・事業団の「催し物の予定」や「実施事業の報告」
- ・事業団が制作した冊子の内容。「認知症」や「がん緩和ケア」など
- ・「NHK障害福祉賞」や「NHK銀の零文芸賞」の入選作品の紹介
- ・「わかば基金」で支援した福祉団体の活動をレポートする「わかばなかま」
- ・「福祉ビデオライブラリー」の目録や予約システム
- ・寄付について

など多岐にわたる。

- ホームページの利用者からメールで寄せられたさまざまな問い合わせには、各担当者が即応するよう努めた。

## 8. リスクマネジメントとコンプライアンス

### (1) リスクマネジメント、コンプライアンスへの取り組み

○「業務の適正を確保するための体制の評価」

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」という6つの観点から、整備状況および運用状況の有効性を評価した。また、業務上重要なリスクを抽出した上で、必要な対応(内部統制)が実施されていることを評価した。

評価の結果、平成29年3月31日時点における事業団の内部統制は、概ね有効であると判断した。

○前年度からの継続課題である「改正社会福祉法」の趣旨に沿った①経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性の向上③財務規律の強化に取り組んだ。28年中に、定款を変更し、①に対応して議決機関としての評議員会を設置し、理事・理事長に対する牽制機能を発揮させることにしたほか、②の対応として、計算書類、現況報告書、役員報酬等の支給基準を公表することとした。

○コンプライアンス推進活動の一環として全役職員にNHK研修センターが実施している「事例に学ぶコンプライアンス」研修を受講させ、リスクマネジメントの強化に努めた。

### (2) 内部監査の実施

○昨年に引き続き近畿・中部・九州の全支局で、総務部の監査を実施した。また個人情報のデータを扱っているシステムの点検など個人情報保護監査を実施した。

## 9. 後援、協賛した事業

福祉、教育、医療団体などが実施する研修、啓発事業、また美術、スポーツ団体などが福祉目的で開催するチャリティー事業に積極的に協力し、本部・支局合わせて171件の事業を後援、協賛した。

### ○福祉関連の催し（142件）

「自閉症啓発デー2016」「第44回日本車椅子バスケットボール選手権大会」  
「世界ダウン症の日記念イベント」「高校生ボランティアアワード」  
「福祉の就職総合フェア2016 in OSAKA」「第61回名古屋市身体障害者福祉大会」  
などを後援、協賛した。

### ○チャリティー催し物（29件）

「国展」「春陽展」「東光展」「二科展」「三多摩総合舞踊発表会」「チアリーディング日本選手権大会」「KEIRINグランプリ2016」「手工芸作品展」「手づくりフェア in 九州」などのチャリティー催しを後援し、その益金から事業団へ寄付をいただいた。

## 10. 寄付金

当事業団への寄付金には二種類ある。個人や団体からのご寄付である一般寄付金と、当団が主催、後援、協賛したチャリティー事業からのご寄付であるチャリティー寄付金である。

28年度は、

一般寄付金が	190件	8,548万4,387円
チャリティー寄付金が	51件	5,009万6,605円
寄付金総額は、	241件	1億3,558万992円

に上った。

## 11. 賛助会員・維持会員等

賛助会員は一般法人に広く協力を求め、本年度は1団体2口の新規入会があった。しかし業績不振等により、退会9団体9口の申し出もあり、合わせて139団体から2,050万円の支援を受けた。

個人からの継続寄付者を含む維持会員等については、NHKおよびNHK関連団体役職員、NHK旧友会員など6,218人の方々の協力を得て、その額は1,079万4,000円に達した。

### 〔特別賛助会員〕

- |         |              |                |
|---------|--------------|----------------|
| ・第一生命保険 | ・日立製作所       | ・富士通           |
| ・みずほ銀行  | ・NHKエンタープライズ | ・NHKメディアテクノロジー |

### 〔賛助会員〕

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ・愛知県農業協同組合中央会   | ・アットホーム         | ・アーチェリープロダクション |
| ・アーティストハウスピラミッド | ・葵設備工事          | ・アフラック         |
| ・井上商店           | ・池上通信機          | ・石川近鉄タクシー      |
| ・岩谷産業           | ・岩手ホテルアンドリゾート   | ・栄光舎           |
| ・映像プロ           | ・エクサート松崎        | ・荏原冷熱システム      |
| ・遠藤波津子美容室       | ・大阪ガス           | ・岡谷鋼機          |
| ・オフィスプロペラ       | ・勝亦電機製作所        | ・加藤電気工業所       |
| ・川崎重工業          | ・川嶋印刷           | ・関西電力          |
| ・北日本モーター        | ・木下サーカス         | ・近物レックス        |
| ・近鉄タクシー         | ・KDDI           | ・江綿            |
| ・国際自動車          | ・コメリ            | ・近藤産興          |
| ・さくら組           | ・サンセイ           | ・シーズコーポレーション   |
| ・ジーズ・コーポレーション   | ・ジェイアール東海高島     | ・JTS           |
| ・島精機製作所         | ・ジャパネットホールディングス | ・小学館           |
| ・白川プロ           | ・新日本空調大阪支店      | ・スギヤス          |
| ・スタービーイング       | ・スマートコンセプト      | ・住友電気工業        |
| ・住江織物           | ・善意の輪           | ・全国大陶器市振興組合    |
| ・全国陶器祭振興会       | ・セントラルスポーツ      | ・全日本空輸         |
| ・ゼンリン           | ・総合システム管理       | ・相互住宅          |
| ・ダイキン工業         | ・大和自動車交通        | ・大和証券          |
| ・宝塚舞台           | ・タカラベルモント       | ・津幡技研工業        |
| ・ツマガリ           | ・ツムラ            | ・つむら工芸         |
| ・帝産キャブ名古屋       | ・帝都自動車交通        | ・電気興業          |
| ・テンプスタッフ        | ・東京海上日動火災保険     | ・東芝            |
| ・東新紙業           | ・トヨタ自動車         | ・豊田スタジアム       |
| ・名古屋三越          | ・西川             | ・日産自動車         |
| ・日産自動車販売        | ・日本医師会          | ・日本音楽事業者協会     |

- ・日本音楽著作権協会
- ・日本ゴルフツアー機構
- ・ネイチャー
- ・花岡無線電機
- ・阪急電鉄
- ・ビジュアルオフィス・善
- ・福家書店
- ・丸一鋼管
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・モリタホールディングス
- ・ランドマークプロダクツ
- ・NHKアート
- ・NHK営業サービス
- ・NHKグローバルメディアサービス
- ・NHKビジネスクリエイト
- ・NHK文化センター
- ・日本国際放送
- ・放送衛星システム
- ・日本ガイシ
- ・日本たばこ産業
- ・野村證券
- ・バリュープランニング
- ・PL東京健康管理センター
- ・日立国際電気
- ・福建社
- ・丸徳産業
- ・明電舎
- ・森平舞台機構
- ・リンレイ
- ・NHKアイテック
- ・NHKエデュケーショナル
- ・NHKサービスセンター
- ・NHKプラネット
- ・NHK放送研修センター
- ・日本放送協会学園
- ・日本交通
- ・日本電気
- ・バーニングプロダクション
- ・阪急産業
- ・ヒサヤ大黒堂
- ・日の丸自動車
- ・ホテルオークラ東京
- ・三井住友信託銀行
- ・メデア21
- ・ヨコシネディーアイエー
- ・WOWOW
- ・NHKインターナショナル
- ・NHKエンジニアリングシステム
- ・NHK出版
- ・NHKプロモーション
- ・共栄サービス
- ・日本放送協会共済会

(H29.3.31現在)

## 12. 役員

### (1) 役員体制 (平成29年3月31日現在)

理事長	鈴木 賢一	
常務理事	大島 勉	
理事 (非常勤)	板野 裕爾	(株式会社NHKエンタープライズ代表取締役社長)
理事 (非常勤)	上野 一彦	(東京学芸大学名誉教授)
理事 (非常勤)	大美 慶昌	(日本放送協会視聴者総局事業センター長)
理事 (非常勤)	小山内 美江子	(シナリオライター)
理事 (非常勤)	伍藤 忠春	(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会副会長)
理事 (非常勤)	中村 吉夫	(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター理事長)
理事 (非常勤)	橋本 正明	(社会福祉法人至誠学舎立川理事長)
理事 (非常勤)	若泉 久朗	(日本放送協会制作局長)
監事 (非常勤)	松尾 正	(株式会社NHKアイテック取締役)
監事 (非常勤)	中島 謙次	(社会福祉法人中央共同募金会常務理事)

### (2) 理事および監事に支払った報酬等の額

当該事業年度における当事業団の理事および監事に対する報酬等の内容は、以下のとおり。

対象者	人数	報酬の額
理事	13人	3,052万円
監事	3人	—

- 注) 1. 上記人数には、当期中に退任した非常勤理事3人及び非常勤監事1名が含まれる。  
2. 上記のうち、非常勤の理事10人、監事3人には、報酬は支払っていない